

## 1 基本方針

日本の旅行先としての認知度を向上させるとともに、人口動態、嗜好等を考慮してターゲットを絞り、デリー新事務所の活動基盤拡充を通じて効果的に情報発信を強化する。また、日本国内においてインド旅行者の受入環境（宿泊、食等）の改善に取り組む。

人口：135,177万人  
 1人当たりGDP：2,172米ドル  
 アウトバウンド数：2,630万人  
 訪日数：18万人

## 2 ターゲット

\*2019年推計値(アウトバウンド数は2018年)

ターゲット	課題/対応	3との関係	主な訴求テーマ
中・高所得者層 30~50代個人旅行者	高所得者層の多い大都市を中心に、映画等を含む訴求力の高いコンテンツ・媒体を活用し、一般向け情報発信を強化する。	① ② ③	都市観光（ショッピング、街歩き）、日本食、自然（桜・雪）、文化体験
学生・若年層	大学等の関係施設・組織とも連携を進め、訴求力の高いコンテンツ・媒体を活用し、対象に対し効果的な手法を用いて情報発信する。	① ②	先端技術、日本食、文化体験 ウェディング

## 3 取組の方向性

	2018年度	2019年度	2020年度
① 旅行先としての日本の認知度向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本旅行に対する言葉・食・価格等のマイナス・イメージを払拭する情報発信</li> <li>映画等の訴求力の高いコンテンツ・媒体を活用した効果的発信</li> </ul>	
② ターゲティング及び新事務所の活動基盤拡充を通じた情報発信強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なターゲティングに必要な情報収集・発信を実現する業務ネットワークの拡充</li> <li>BtoC及びBtoBとも充実した情報収集・発信を実現する活動基盤の拡充</li> <li>【BtoC】各種メディア露出（記事・番組等）、ホームページ、SNS、広告（ウェブ、企業連携による共同広告を含む。）等</li> <li>【BtoB】見本市出展、セミナー・E-Learning、訪日招請 等</li> </ul>	
③ 日本国内の受入環境改善			<ul style="list-style-type: none"> <li>インド人旅行者を積極的に受け入れる国内観光施設（宿泊、食等）を増やすためのセミナー等の実施</li> </ul>